

問1 航空ネットワークにおいて、自転車の車輪の軸のように国内外の多数の路線が集中し、乗客が目的地へ向かうための乗り換え拠点として機能する大規模な空港を何と呼びますか。 (2019年 大分県公立入試 類似)

1. ハブ空港 2. 地方管理空港 3. 国際貨物ターミナル 4. 不沈空母

問2 中部地方の各県の農業産出額を比較した資料において、野菜と果実の産出額がともに他県を大きく上回っている長野県の農業の特色について、その背景を説明したものと最も適切なものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

1. 標高の高い地域の涼しい気候を活かした抑制栽培を行い、レタスなどの野菜を都市部が品薄になる時期に出荷している。 2. 平坦な広大な土地と豊富な水資源を活かし、機械化による大規模な稲作を主体とすることで、米の産出額を伸ばしている。 3. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を活かした促成栽培を行い、冬でもピーマンやなすなどの野菜を生産している。 4. 三大都市圏に近い立地条件を活かして、収益性の高いキャベツの生産や、電照菊などの花きの栽培を大規模に行っている。

問3 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)

1. 飛騨山脈 2. 木曾山脈 3. 赤石山脈 4. 越後山脈

問4 中部地方には、日本の屋根と呼ばれる標高3000メートル級の山々が連なる地域があります。このうち、北陸新幹線の福井駅から軽井沢駅へと向かう路線の近傍に位置し、「北アルプス」の別名でも知られる険しい山脈の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福井公立入試 類似)

1. 飛騨山脈 2. 木曾山脈 3. 赤石山脈 4. 日高山脈

問5 富山ライトレールの開業前後における利用者数の変化について、JR時代の2005年とLRT導入後の2006年を比較した統計があります。この統計では、60代の利用者が260人から814人に、70代の利用者が164人から566人に増加したことが示されています。この変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)

1. 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。 2. 10代の利用者の増加割合が最も大きく、高齢者の増加率を大きく上回った。 3. 50代の利用者が全ての年代の中で最も多くなり、利用者層の中心となった。 4. 高齢者の利用者は増えたものの、JR時代と比較した伸び率は2倍未満にとどまった。

問6 中部地方各県の農業産出額の内訳を示した統計において、愛知県や長野県、静岡県などでは、産出額が最も多い上位品目の割合がいずれも全体の50パーセントに満たないという特徴が見られます。このような統計から読み取れる、これらの県における農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2020年 京都公立入試 類似)

1. 特定の作物のみを大規模に生産するモノカルチャー経済が確立されている 2. 地形や気候の制約により、生産できる農作物の種類が極めて限定されている 3. 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている 4. 農業従事者の高齢化により、主要な品目の産出額が平均的に減少している

問7 北陸新幹線を利用して福井駅から長野方面へ向かう際、列車が停車する主な駅の順序を西から東へ順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 福井公立入試 類似)

1. あわら温泉、加賀温泉、金沢、富山、長野 2. あわら温泉、加賀温泉、富山、金沢、長野 3. 金沢、加賀温泉、あわら温泉、富山、長野 4. あわら温泉、加賀温泉、金沢、長野、富山

問8 中部地方に位置し、北側で石川県、南側で滋賀県、東側で岐阜県と隣接する県があります。この県は日本海（若狭湾）に面しており、県内の鯖江市では国内生産の大部分を占める眼鏡枠の製造が盛んです。この県の名前として正しいものを選びなさい。 (2021年 三重公立入試 類似)

1. 福井県 2. 石川県 3. 滋賀県 4. 岐阜県

問9 飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈という険しい山々が並ぶ地域や、その南側の富士山に近い地域で見られる気候の特色について、正しい説明はどれですか。 (2019年 大阪公立入試 類似)

1. 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。 2. 黒潮の影響を強く受けるため、一年を通じて温暖で降水量が多い太平洋側の気候となる。 3. 季節風が山脈を越えてくるため、冬には日本海側特有の平野部よりも多い降雪が一年中続く。 4. 標高が高いため、一年を通じて湿った空気が流れ込み続け、国内で最も降水量が多い地域となる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ハブ空港	多くの路線が一点に集中し、そこから各地へ放射状に伸びる様子を車輪の軸（ハブ）に例えた名称です。効率的な乗り継ぎ（トランジット）を可能にすることで、航空網全体の利便性を高める役割を担っています。
問2	答え 1 標高の高い地域の涼しい気候を活かした抑制栽培を行い、レタスなどの野菜を都市部が品薄になる時期に出荷している。	長野県は中央高地の冷涼な気候や標高差を活かし、夏でも涼しい高原でレタス、キャベツ、はくさいなどの「高原野菜」を育てる抑制栽培が盛んです。また、水はけの良い扇状地や傾斜地では、りんごやぶどう、ももなどの果実栽培も非常に盛んであり、これらの産出額が統計上の大きな特徴となっています。
問3	答え 1 飛騨山脈	日本アルプスは北から順に、飛騨山脈（北アルプス）、木曾山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）という名称がついています。これらの山脈は、日本列島を東西に分ける大きな溝（フォッサマグナ）の西側に位置しており、日本の国土を象徴する高峻な地形で構成されています。
問4	答え 1 飛騨山脈	中部地方の中央部には、北から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曾山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つの山脈が並んでおり、これらを総称して日本アルプスと呼びます。北陸新幹線のルートは、石川県や富山県といった日本海側の地域から長野県の内陸部へと抜ける際、最も北側に位置する飛騨山脈の裾野を通る形になっています。日高山脈は北海道に位置する山脈であるため、位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問5	答え 1 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。	富山ライトレール（LRT）の導入による効果を年代別に分析すると、高齢者層の利用に劇的な変化が見られました。具体的には、60代の利用者が約3.1倍（260人から814人）、70代の利用者が約3.4倍（164人から566人）となっており、いずれも3倍を超える大幅な増加を記録しています。これは、公共交通の利便性向上やバリアフリー化が、高齢者の外出促進に大きく寄与したことを示しています。
問6	答え 3 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている	中部地方の多くの県では、平野部での稲作に加え、高冷地での野菜栽培、扇状地での果実栽培、都市近郊や山間部での畜産など、多様な地形や気候条件を活かした農業が行われています。そのため、一つの品目に依存するのではなく、農業産出額の上位品目が多岐にわたっており、産出額の構成における多様性が高いことが特徴です。
問7	答え 1 あわら温泉、加賀温泉、金沢、富山、長野	2024年3月に金沢・敦賀間が延伸開業した北陸新幹線のルートを確認すると、福井県から石川県、富山県、新潟県を経て長野県へと至ります。福井駅を出発して北東へ進むと、福井県北部のあわら温泉駅、石川県に入って加賀温泉駅、そして石川県の県庁所在地である金沢駅に到着します。その後、富山県の県庁所在地である富山駅を経由し、内陸に入って長野駅へと向かいます。富山と金沢の順序、および長野の位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問8	答え 1 福井県	福井県は中部地方の日本海側に位置し、若狭湾の複雑な海岸線や、石川・滋賀・岐阜の各県と接する地理的特徴を持ちます。鯖江市の眼鏡枠製造は、雪深い冬の農閑期における副業として始まった歴史があり、現在では世界的な技術力を誇る産地として知られています。
問9	答え 1 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。	長野県や山梨県は日本アルプスなどの高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入りにくく、降水量が比較的少ない内陸の気候（中央高地の気候）となります。また、盆地は熱がこもりやすく、夜間は放射冷却により冷え込みやすいため、気温の年較差や日較差が大きくなるのが特徴です。